

松井石根 まつい いしか 陸軍軍人。明治十一年七月、二十七歳知縣生れ。昭和  
 (二十二年十一月)二十三日没(八六一一九四)。明治二十九年陸軍大學校  
 卒。第十一師團長、ジエネーブ軍縮會議全權委員等を経て、昭和八年  
 臺灣軍司令官、大將陞任。十一年中支那方面軍司令官兼上海派遣軍司  
 令官となり南京作戦を指揮。翌年内閣参議、のち大政翼賛會總本  
 部統理、大亞細亞協會會頭。戦後所謂(南京事件)の責任を問はれ、  
 刑死した。

著書「名士縦横談」(合著・洲田忠良編、昭和十五年八月十日大日本  
 雄辯會講談社「キング文庫」)等。